

選考結果総括表

府省庁名 厚生労働省

役職		現任者				任命予定者			選考経過
		氏名	年齢	当初就任 年月日	前職	氏名	年齢	現(前)職	
(独)国立病院 機構	理事 (雇用管理担 当)	欠員 (H24.6.16 ~)				佐藤 美幸	58	厚生労働省大臣官房 参事官(医療経営・医 療計画担当) 厚生労働省医政局医 療経営支援課長 [OB]	応募総数 6名 ↓ 書類選考 5名 ↓ 面接 3名 ↓ 任命権者が選任

※ 公務員OB該当者は、現任者及び任命予定者の「現(前)職」欄に[OB]と記載すること。

(独)国立病院機構 役員名簿新旧対照表

現 任 者							就任(予定)者			任命権者	発令(予定)日
役 職	氏 名	年齢	当初就任 年月日	任期	任期満了 年月日	前 歴	氏 名	年齢	前 歴		
理事長	楠岡 英雄	68	H28.4.1 (H19.4.1)	- ※1	H31.3.31	(独)国立病院機構大阪 医療センター院長 (独)国立病院機構理事 (非常勤)				厚生労働大臣	
副理事長	古都 賢一	60	H27.4.1	4	H32.3.31	厚生労働省大臣官房審 議官(賃金、社会・援 護・人道調査担当) (独)国立病院機構本部 企画役 【役員出向】				理事長	
理 事	桑島 昭文	56	H29.10.1	2	H31.9.30	内閣府参事官(重要課題 達成担当)(政策統括官 (科学技術・イノベーション 担当)付) 国立研究開発法人国立循 環器病研究センター政策 医療部長 【役員出向】				理事長	
理 事	末廣 聡	60	H30.4.1	2	H32.3.31	損保ジャパン日本興亜 キャリアビューロー(株) 代表取締役社長				理事長	
理 事	欠員 (H24.6.16～)			2			佐藤 美幸	58	厚生労働省大臣官房参事官 (医療経営・医療計画担当) 厚生労働省医政局医療経営 支援課長	理事長	H31.1.1
理 事 (非常勤)	板東 久美子	64	H30.5.1	2	H32.4.30	消費者庁長官 日本司法支援センター 理事長(現職)				理事長	

公募

役職	現任者						就任(予定)者			任命権者	発令(予定)日
	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢	前歴		
理事 (非常勤)	橋本省	67	H29.4.1	2	H32.3.31	(独)国立病院機構 仙台医療センター院長 (現職)				理事長	
理事 (非常勤)	大島久二	65	H30.4.1	2	H32.3.31	(独)国立病院機構 東京医療センター院長 (現職)				理事長	
理事 (非常勤)	直江知樹	67	H26.4.1	2	H32.3.31	(独)国立病院機構 名古屋医療センター院長 (現職)				理事長	
理事 (非常勤)	中井國雄	66	H28.5.13	2	H32.5.12	(独)国立病院機構南和 歌山医療センター院長 (現職)				理事長	
理事 (非常勤)	中川義信	68	H26.7.1	2	H32.3.31	(独)国立病院機構 四国こどもとおとなの医 療センター院長(現職)				理事長	
理事 (非常勤)	森田茂樹	63	H30.4.1	2	H32.3.31	(独)国立病院機構 九州医療センター院長 (現職)				理事長	
理事 (非常勤)	長田恵子	59	H30.4.1	2	H32.3.31	(独)国立病院機構 東京医療センター副院 長(現職)				理事長	
監事	伊勢浩祐	57	H28.4.1	5 ※2	H30年度 財務諸表 承認日	みずほ債権回収(株)専 務取締役				厚生労働大臣	
監事 (非常勤)	石尾肇	58	H28.4.1	5 ※2	H30年度 財務諸表 承認日	石尾公認会計士事務所 所長 監査法人エムエムピー ジー・エーマック代表社 員(現職)				厚生労働大臣	

※1 理事長の任期は、中期目標の期間の末日まで。

※2 監事の任期は、理事長の任期の末日(H31.3.31)を含む事業年度についての財務諸表承認日まで。

(独) 国立病院機構理事 (雇用管理担当) 選任理由

本法人の使命は、患者さんの目線に立ち、懇切丁寧な医療を提供するとともに、質の高い臨床研究、教育研修を将来にわたって継続することにより、国の医療政策として機構が担うべき医療の向上を図り、もって公衆衛生の向上及び増進に寄与することにある。

これらの使命を果たすため、当法人が緊急に取り組むべき課題としては、

1. 地域医療構想を踏まえた機能転換・再編など、医療機能の明確化
2. 平成31年度における経常収支の黒字化に向けた投資の見直しなど、経営改善の取組み
3. 働き方改革への対応など、適正な労務管理
4. 情報セキュリティの強化など、個人情報の適正な管理

が挙げられ、これらのうち、経営改善と労務管理については、現在は副理事長が一括して陣頭指揮を執る体制となっている。

これは、平成24年6月から、労務管理を個別に担当する役員が不在となっていることによるものであるが、

1. 全国141病院を統率する労務管理は、国における働き方改革等に沿って、従来の価値観にとらわれることなく、長時間労働の是正などに率先垂範して取り組まなければならない新たな重要課題であるとともに、
2. 各病院の経営改善は、当法人が使命を果たす上での土台でもあることから、

双方を同時に、かつ、最大限の成果を実現するための体制として、雇用管理に特化した担当理事を配置し、副理事長は、経営課題を中心に法人運営全般を統率するという、安定的発展に向けた基盤づくりが急務となっている。

本件公募に対しては、6人の応募があり、選考委員会による書類選考で5人に絞られた候補者について、選考委員会が面接を行った上で、最も高い評価を得た者と他の候補者に対する評価を任命権者である理事長に提示し、理事長が選考委員会で最も高い評価を得た佐藤美幸氏を選任したところである。

同氏は、大規模組織のマネジメント、医師、看護師、事務職など他職種からなる医療機関の雇用管理及び管理職の経験が十分にあり、かつ、職員の視点に立った適切な勤務体制を構築するという明確な目的意識を持っていることなどが、選考委員会によって最も高く評価されたものである。さらに、同人は、医政局在職時に、医師の働き方改革に携わっていたという強みを持っており、理事長もそうした能力と情熱に大いに期待しているところである。

選考委員会の属性について

【厚生労働省】

- ・ 独立行政法人国立病院機構

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

- ・ 大学名誉教授 1名
- ・ 病院経営者 1名
- ・ 会社役員 1名
- ・ 公認会計士 1名
- ・ ジャーナリスト 1名

計 5名